

ママと子どもの  
言葉の力を育む講座

②

Language Training for  
Mom and children

講師 Mariko

## 2. コミュニケーション意欲を育む

# 前月の課題

言葉について考える Thinking about language

- ・ **自分がどんなふうに言葉を使ってきたか** How did you use words?
- ・ 自分がどんなふうに言葉を使っていきたいか How do you want to use words.
- ・ 子どもにどんなふうに言葉を使ってほしいか How do you want your child to use words?

# 自分の言葉のクセを見つける

親の言葉がそのまま子どもの言葉として継承されていく  
子どもの言語の脳は世界脳、日本の文化はまだ染み付いていない

自分のことを客観的に見る習慣をつけましょう！



メタ認知

# 今月の課題 問う力を養う

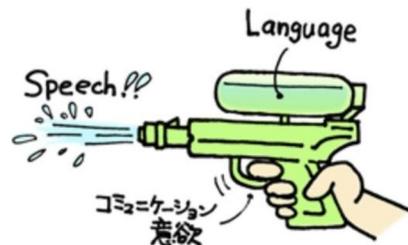
なにかをするときに理由をつける習慣を身につけましょう

ex.今日の服はズボンにする。なぜかというと公園に行くため動きやすい服がよいから。

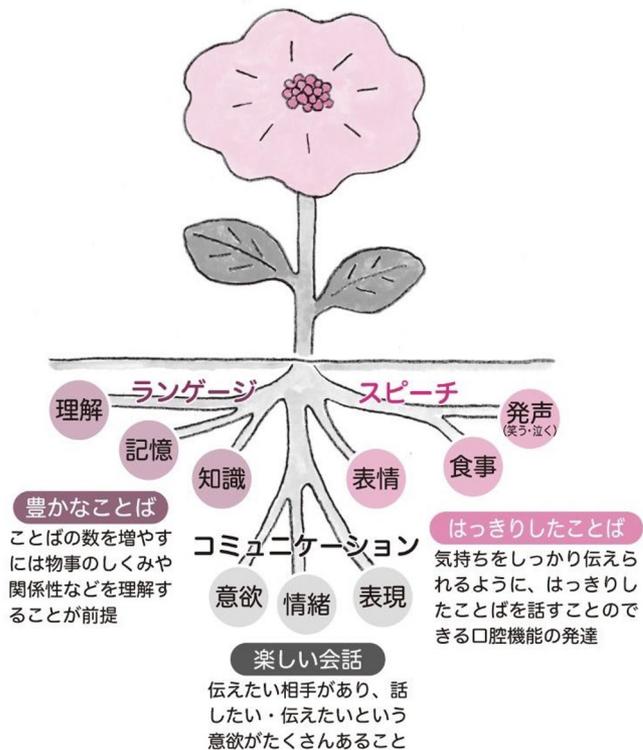
ex.今日のご飯はカレーにする。なぜかというと玉ねぎとじゃがいもがあるから

ex.今日は駅前のスーパーに行く。なぜかというとお肉が安いとチラシが入っていたから

# 言語の表出のためには



1. わかることば（概念・思考） language
2. コミュニケーション意欲（相手に伝えたいと思う気持ち）
3. 声に出すことば（表出言語） speech



引用文献：中川信子著「子どものこころとことばの育ち」  
「生まれたときからことばを育てる暮らしから」

## ・スピーチ

表情豊かに育つためにはたくさんの表情を見せることが大切。

大人がマスクで表情を見せないことが危険！

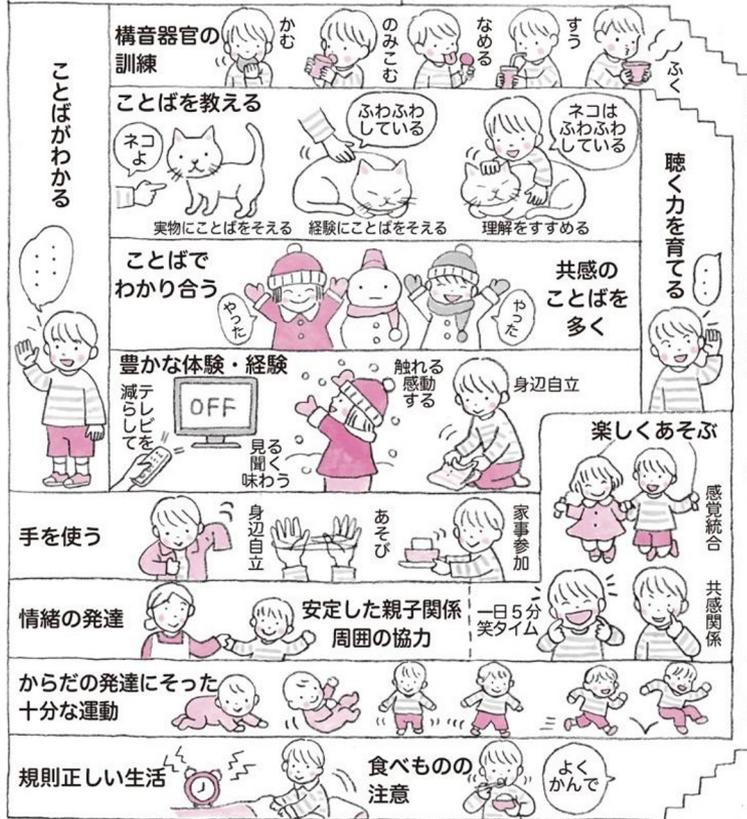
## ・ランゲージ

理解するためには体験が不可欠！  
五感を使う体験遊びに言葉をいれる！

## ・コミュニケーション

言葉を伝える先には相手がいるということ。  
信頼関係を築き、話せる安心な場を提供してあげる。

# ことば



## 脳の積み上げ構造

脳の構造は「3つ重ねの鏡餅」

大脳皮質（ことば）

大脳辺縁系（こころの脳）

脳幹（からだの脳）

引用文献：中川信子著「ことばをはぐくむー発達に遅れのある子どもたちのために」

お子様とコミュニケーション意欲を育むためにママができること

考えてみましょう！

## お子様とコミュニケーション意欲を育むためにママができること

目を合わせてお話す（手をとめて聞く体勢をとる）

子どもの声を待つ（代弁しない）

気持ちを聞きたい、聞けて嬉しいことを伝える

ママ以外とコミュニケーションを取ったときもその喜びを伝える

ママも同じように体験して一緒に体験を味わう

スキンシップをたくさんとる

子どもの目線、視点に合わせる

# スピーチを促す遊び

吹く楽器 ふえ、ラッパ、ピアニカ、

ストローでピンポン玉転がし

吹き戻し

お皿のうえの紙吹雪を飛ばす

傘袋をストローでふくらます (おばけ、ロケット)

# 散歩のすすめ

① 100%気持ちを子どもに向けれる

→写真をとる以外携帯はオフ

② 選択肢を子どもに与えられる（子ども主導）

→行き先を子どもに決めさせる

③ 自然に五感を傾ける（空、鳥、虫、植物、風、影、月） 自然は言葉の宝庫

→ママが言葉にする癖がつく

④ 遠くを見ることで目を休める



# お手伝いのすすめ

- ①コミュニケーションの時間が増える
- ②ほんものに触ることで五感を刺激
- ③ママの褒める言葉が増えて自信につながる
- ④手先や体の訓練となる（洗濯バサミ、ぞうきんしぼり、ぞうきんがけ）



スーパーマーケットはほんもの教材の宝庫！

お店は知らない人とコミュニケーションをとるチャンス

# 今月の体験遊び

9月 秋のはじまりです。特別な体験をたくさんしてくださいね

- ・ お月見（すすき、お団子、うさぎ、お月様、満月、十五夜）
- ・ 秋の虫（すずむし、こおろぎ、くつわむし、マツムシ）是非おうちに連れて帰ってみてください
- ・ 敬老の日（おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう）

# 今月の絵本



# 今月のリトミック

9月の歌

『大きな栗の木の下で』

<https://youtu.be/Oj1Lm50541U>